

# 駒の館だより

明治鍼灸大学図書館報

第20号

平成13年3月1日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-0392 京都府船井郡日吉町

TEL.0771-72-1181(代)



## 目次

- ① 新館長就任のご挨拶  
    図書館報第20号を迎えて 松浦 忠夫
- ② 祝 卒業  
    訳著を語る 芳野 温  
    川喜田健司
- ③ 祝 入学  
    私のお薦めの一冊 田中 忠蔵  
    山村 義治
- ④ 特集1  
    図書館報第20号の発刊を祝して 谷口 和久  
    図書館報「駒の館だより」  
    第20号の発刊を祝して 栗山 欣彌
- ⑤ 特集2  
    「丹波にて」 鷹峰 道雄  
    図書館と私 田中 龍三
- ⑥ 新着図書案内一覧 附属図書館
- ⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記 //



## 新館長就任のご挨拶 図書館報第20号を迎えて

附属図書館長 松浦 忠夫

平成12年10月1日、図書館長に就任致しました。中途半端な時期ですが、前館長、小林和子教授の退職に伴い急遽就任ということになった次第です。歴代館長に倣って利用者の皆様の更なる利便性向上に努めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

図書館報「駒の館だより」も1981年（昭和56年）短期大学開学後3年目の創刊以来皆様のご協力によって欠号の憂き目を見ることなくここに無事20号が発刊できることになりました。この間、1983年（昭和58年）短期大学から大学へ、1987年（昭和62年）附属病院開院、1991年（平成3年）大学院修士課程設置、1994年（平成6年）大学院博士課程設置とめまぐるしい勢いで大学の充実が図られてきました。一方、図書館も徐々にではありますが変化（進化？）しており、開架図書の充実、ビデオコーナーの設置、蔵書管理・受付業務のコンピュータ化、オンライン蔵書検索サービスの提供、CD-ROM教材閲覧用コンピュータ設置と、情報メディアの多様化に対応すると共に管理

業務が合理化され、利便性の向上が図られてきています。しかし、図書館サイドのサービス体制がいかに充実しても利用されなければ宝の持ち腐れ、せいぜ

い利用してご意見をお寄せください。

これまでの要望の中には、閲覧室の拡大、個室の設置、開架図書の拡充など図書館のスペースが問題となるものが多く寄せられています。私としてもこれらは是非実現さるべく努力したいと思っておりますが、早急な改善は難しいでしょう。雑誌の充実の要望もあります。こちらは近年オンラインジャーナルが充実してきており、これの導入が考えられます。特に本学の現況（立地、館のスペース、学内LANの状況など）からみても真剣に取り組む必要があると思っております。



ヒメオドリコソウ（薬草）

学名 Lamium purpureum L.  
シソ科

ヨーロッパ・小アジア原産で、わが国でも都市周辺の畑地などによく見られる小型の一年草です。

（効能）  
利尿・浄化・強壮・鎮静・消炎作用

## 祝 卒 業

京都駅前鍼灸センター長 芳野 温



### 卒業生に贈る

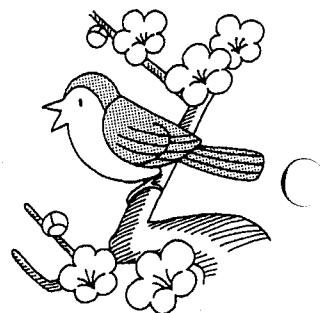
21世紀の初頭に卒業生となりましたみなさんおめでとございます。

さて、21世紀にはグローバルスタンダードの波が医療にも押し寄せて、日本の医療市場も外国の資本が市場制覇を目指して来ると考えられます。また一方では、9000、14000のISO (International Organization For Standardization 国際標準化機構) が鍼灸師の立場にも影響を及ぼしてくることも、考えなければなりません。

鍼灸の受療者も、スポーツ障害や加齢によって生じる整形外科的な痛み、或いは生活習慣の乱れからくる内科的症状だけではなく、急激に変わる社会変化や経

済界の変動、さらに倫理観の揺らぎが人々を戸惑わせ、また老年者の生活不安による悩みが増えると思われま。また経済的豊かさと生活の便利さを享受しながら、むしろそのことにより自己を見失い、多種多様の悩みにより圧倒され、対応困難な状態になり日常の営みもできなくなるパニック症状の患者も多くなりましょう。いずれにしても悩みと病気の間には挟まれた人が、鍼灸治療で心の癒しを求めてくるケースが増えるように思われます。

現代医学的病態把握と鍼灸の技法にばかり捉われすぎることなく、臨床心理学的知識や傾聴、受容、共感が基本となる医療コミュニケーションの技法を習得すると共に、また人間として存在への絶対的尊重を基盤とする実存的哲学を持つことが、21世紀の鍼灸師には必要と確信しています。卒業諸君の今後に心から期待しています。



## 訳 著 を 語 る

明治鍼灸大学生理学教室 川喜田健司

### 「トリガーポイント鍼療法」



本書は自著ではありません。最初所手にした時、鍼に関連した数多くの書籍の中であって、きわめて論理的に、かつ可能な範囲で文献的裏付けに基づいて記載されている優れた本という印象を持ちました。そこで、ある雑誌の書評で強く推薦したの

がきっかけとなり、翻訳本として刊行することになったものです。

本書の原題は「Acupuncture, trigger points and myoskeletal pain (鍼、トリガーポイント、筋骨格系の痛み)」であり、鍼の臨床に限った本ではなく、鍼の世界中への普及の歴史、トリガーポイントにまつわるさまざまなメカニズム、痛みの生理学、鍼鎮痛の機序、内因性鎮痛機構、そして鍼の新しい方法としてトリガーポイントに対する鍼治療を具体的に紹介しています。さらには、鍼の評価に関して臨床試験の必要性まで概説されており、著者の持つ幅広い知識に驚かされながら、本学の諸先生方をはじめ多くの方々にご協力をいただいて何とか訳本として形にできたことを覚えております。

本書の著者である P. Baldry 博士とは直接お会いする機会はまだありませんが、典型的なイギリス紳士とのことで、たびたび手紙のやりとりを行うなかで貴重な意見を頂きました。

本書を訳す過程で強く印象に残ったのは、限りなく厳密に文献的な裏付けに基づいた記載を目指しているという著者の姿勢です。近年よく知られるようになったEBM (根拠に基づく医療) におけるシステムテック・レビューの精神を持って、すでに10年以上前から鍼の分野で実践されてきたものであり、現在も大いに参考になる本であると思えます。









## 図書館報第20号の発刊を祝して

学校法人明治東洋医学院 理事長 谷 口 和 久

大学附属図書館が持つ使命を深め、多くの皆さんに図書館を利用頂くことを目的として、昭和56年から年1回刊行されてきた図書館報「駒の館だより」が、本号をもってめでたく第20号を発刊されますことを、心からお喜び申し上げます。

「駒の館だより」は、過去20年間にわたり、図書館の利用者と図書館とを繋ぐメディアとして親しまれ、その内容も年々充実し、図書館報としての意義を高めてまいりました。

本学附属図書館では、主として鍼灸学部の教育・研究・治療に沿った専門図書・学術雑誌の収書に努め、短大開学時では図書13,989冊、学術雑誌120種でありましたが、本年までに約36,000冊増の約49,000冊の蔵書数となり、学術雑誌も約70種増の191種と充実し、日本唯一の鍼灸大学の附属図書館にふさわしい規模に成長いたしました。

一方、多くの情報の宝物とも言える蔵書を如何に有効に活用できるのか、より簡便に利用いただくには如何にすべきか、見たい本が今貸出し中か否か、等々その利用の促進に繋がる検討も重ねられ、この結果、図書館情報管理システム「情報館」が導入されました。このシステムにより、蔵書管理・図書貸出業務等のデータベース化が図られると共に、現在では学内 LAN システムとのリンクについても取り組まれ、関係各位には、従前にも増して利用環境の向上にご尽力いただいているところです。

21世紀は正に IT 時代、多すぎる情報を上手に収集・整理し、その中から必要な情報だけを取り出し活かす時代です。IT 時代においても、古くて新しい「紙」「文章」の情報提供手段である「駒の館だより」をお読みいただき、今後とも附属図書館を利活用くださり充実した学生生活を送られることを切望し、第20号発刊のお祝いの言葉といたします。

## 図書館報「駒の館だより」第20号の発刊を祝して 温故知新の意味するもの

明治鍼灸大学学長 栗 山 欣 彌



本学図書館報として知られる「駒の館だより」が、記念すべき第20号の発刊を迎えました。昭和56年11月の創刊以来今日まで、本学の歴史と共に着実な歩みを続けてきた訳で、大変うれしく存じますと共に、この間、本学図書館の運営と図書館報の刊行に心血をそそいで来られた関係各位に、心から謝意と敬意を表したいと思います。

申すまでもなく図書館は学問の府としての大学の顔のひとつであり、その内容や運営方法、更には、その雰囲気を見れば、その大学の教育や研究のレベルが推測出来るとさえいわれています。本学の図書館は規模的には必ずしも大きくはありませんが、鍼灸医学や東洋医学を含めた医学書や医学雑誌を多くもつ点に、大きな特徴を持っています。

大学と致しましても図書館の充実に関後とも力を注ぐと共に、本学の教職員や学生諸君は勿論、広く地域医療の第一線で活躍されている医療関係者にも門戸を開いて行きたいと考えて居ります。

二十一世紀に向かって新しい医学や医療を創造して行くためには、先ず過去の医学や医療の流れを知り、その基盤をなす考え方や実証の歴史を学び、これらに立脚した理論と実証への技術的展開をして行かねばなりません。

ここに図書館の機能を支え、本学の教育、研究及び診療の発展に、今後とも大きく貢献していくことを念願して居ります。





## 「丹波にて」

たには会副会長 鷹峰道雄



同窓会「たには会」も設立二十周年を向かえ、今秋その記念大会が『繋ぐ』というテーマのもとに盛大に行われました。

今その記念誌を読むに付け、この二十年の思い出が懐かしくよみがえります。学生時代の一つの思い出として、大学

の図書館で夕方までレポートを作成中、一天にわかにかき曇り、雪が降り始めたかと思うと、あっという間に十数センチの積雪となったことがありました。おかげで車はスリップして家に帰るのに大変な思いをしました。これも今では懐かしい思い出となりました。

さて話しは変わりますが、これはこの春私が経験したほんの小さな出来事ですが、国際交流を歓迎する一人として、良い勉強をした一日を紹介させていただきます。UCLA（カルフォルニア大学ロスアンゼルス校）は、アメリカでも大変人気が高くビッグな大学です。その学

生達が大勢、私のお寺に坐禅のためにやって来ました。最近、衛星テレビを利用して京都大学とUCLAが相互に交換授業を進めておられるそうです。その授業を受けた学生が相互交流を進め、UCLAの学生三十数名が京大を訪問しました。その間に是非坐禅を体験したいという希望により、双方で六十数名の学生が私のお寺に来る事になりました。開会セレモニーの後、一時間の講義を持ちました。講師は大学教授でアメリカ人禅僧でもあるトムライトさんでした。その内容は、「物質文明が急速に発達した現代、人間は心のバランスを失いつつある、それを如何に保つかは大切な問題であり、東洋の思想に学ぶことが多くある。」というお話で学生達も大変興味深く聞いていました。山鳥の声と風の音を感じながら、二時間坐禅をしました。

スケールにも体格にも勝る彼らが、何か精神的な落ち着きを、東洋の文化に求めようとしていることに、気付かされる一日でした。



## 図書館と私

大学院鍼灸臨床医学Ⅲ（麻酔科） 田中龍三



大学の図書館は、これまでよく利用させてもらった。手元に置いておきたい本は山ほどあるが、高価な上に経済的に余裕がないため、とても自分では購入できなかったの、できるだけ図書館を利用した。新しい本だけではなく古い本も、鍼灸の古

い治療法などを遡って調べるのに役立った。しかし、学部の学生のときは貸し出し期間が短くて、本を読むのが遅い私にとっては、すぐに返済期限が来てしまい、いつも困った。

大学院生になるとその期間が三ヶ月に延びた上に、借りられる本の数も増えたので、随分助かった。このように、現在図書館は、私にとってなくてはならないものになっているが、子供の頃からよく利用していたわけではない。

私が図書館を利用するようになったのはいつ頃かだろうか、と改めて考えてみた。小学校の時に図書館を利用した記憶はほとんどない。中学生の時には何度か利用したような気がするが、あまりはっきりしない。

高校生になってからは意識的に図書館を利用したように思う。物心ついてから中学を卒業するまで、私の周りには教科書以外、本らしい本はほとんどなかった。私が小さいときに読書の習慣を身につけることができなかったのは、おそらくこのためだろうと思っている。高校に入り、私は自分の作文能力が弱いことに気づいた。そして、私は自分の作文能力が弱いのは、これまで本を読んで来なかったせいだと考えた。私が図書館を利用し始めたのは、それからである。

私は高校生の間中、図書館の本を自分の好奇心にまかせてむさぼるように読んだ。その結果、私は読書の魅力に取り付かれ、今では読書は私の趣味の一つになった。これも図書館の本のおかげであると思っている。



# 《新着東医系図書及び医学系視聴覚資料一覧》

(平成12年1月～12月収蔵分)

書名	著者名等	出版社
鍼灸臨床の科学	西條 一止 他 監修	医 歯 薬 出 版
痛みは体のSOS 改訂版	桑岡 俊文	西日本法規出版
改訂版 あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう・柔道整復受験ポイント	執筆小委員会	医 道 の 日 本 社
山元式新頭針療法 (YNSA)	山元 敏勝	メディカルトリビューン
血液循環療法・理論編ーシコリを解けば病気がなおるー	大杉 幸毅	メディアクロス
第4回～第8回詳解・国家試験問題集 2001 あん摩マッサージ指圧師・はり	明治東洋医学院編集委員会編	医 道 の 日 本 社
すぐ効く！よく効く！ツボ療法 完全図解	星 虎男	主 婦 の 友 社
増補改訂 耳針療法の実際	清水 蓮	た に ぐ ち 書 店
黄帝内経靈枢 現代語訳 下巻	南京中医学院中医系 編著	東 洋 学 術 出 版 社
整体術といえは健友館ーリストロなんて怖くないー	越田 昭	健 友 館 出 版 部
タイ式マッサージータイ伝統医療の理論とテクニクー	Richard Gold 編著	医 道 の 日 本 社
特効足のツボ療法	柴田 當子	池 田 書 店
鍼灸マッサージ師のための在宅ケア入門	西村 久代	医 道 の 日 本 社
医道の日本 臨時増刊 NO.5 特集マッサージ全科		医 道 の 日 本 社
指圧のすすめ	水岡 道三	た に ぐ ち 書 店
手のツボがわかる本	五十嵐康彦	日 本 文 芸 社
マッスルエナジー・テクニクーーPNFと関節モビライゼーションをあわせた	Leon Chaitow	医 道 の 日 本 社
整体法の学び方	井本 邦昭	三 樹 書 房
アメリカ医師会がガイドする代替療法の医学的証拠	米国医師会編	泉 書 房
カラーアトラス取穴法	山下 詢	医 歯 薬 出 版
推拿療法	間中 喜雄	医 道 の 日 本 社
整体法3 わかりやすい腰痛講座	井本 邦昭	三 樹 書 房
鍼灸学釈難	李 鼎	(有)源 草 社
初めて学ぶカイロプラクティクススキルー基本原則からマニピュレーションス	David Byfield 編著	医 道 の 日 本 社
元返し療法	古澤孝一郎	た に ぐ ち 書 店
黄帝内経靈枢 現代語訳 上巻	南京中医薬大学編著	東 洋 学 術 出 版 社
医道の日本 臨時増刊 NO.4 1冊まるごとお灸特集		医 道 の 日 本 社
原因はひとつ 健康の鍵は上部頸椎	高橋祐一郎	た に ぐ ち 書 店
難病を治す驚異の刺絡療法	福田 稔	マ キ ノ 出 版
誰にでもできる吸玉療法	宮本 猪八	た に ぐ ち 書 店
ハリ・灸はどうしてこんなに効くのか	胡 伊拉	論 創 社
ツボの救急箱・OL 編	斎藤安世	ユリスシス・出版部
黄帝内経素問 現代語訳 下巻	南京中医学院編	東 洋 学 術 出 版 社
第3回～第7回詳細・国家試験問題集 2000 あん摩マッサージ指圧師・はり	明治東洋医学院編集委員会編	医 道 の 日 本 社
中国刺絡鍼法	譚 徳福	東 洋 学 術 出 版 社
すぐ使える関節ニュートラル整体	及川 雅登	東 京 書 店
歪みは身体の危険信号ーこれが本当の腰痛対策ー	飯田 栄市	文 芸 社
わかりやすい小児鍼の実際 谷岡賢徳 源草社		
鍼灸特効穴ー灸療法ー堀切流鍼灸の神髄ー	山本 敏男	源 草 社
すぐに役立つツボ療法100ーツボのベスト20を活用ー	李 昇昊	七 つ 森 書 館
電気針療法ー電氣的刺激療法のすべてー	清水 完治 編著	エンタプライズ
[症状別]足の裏刺激健康法	五十嵐康彦	廣 済 堂 出 版
すぐできる整体術 改訂版	中山 隆嗣	BABジャパン出版局
整体法5 肩こり講座 井本邦昭 三樹書房		
筋筋膜痛の治療ーハリ治療の西洋医学的手法ー	C.Chan Gunn	克 誠 堂 出 版

電気鍼・TENS・レーザー鍼療法の実際  
 家伝灸物語 どうすればよいか? こうすればよい  
 わかりやすい難経の臨床解説  
 秘法一本鍼伝書  
 医道の日本 臨時増刊 1998 特集:併用してみたい手技療法  
 写真で見るATM療法  
 鍼灸治療法の再構築  
 針灸臨床ノート 下巻(第三集・第四集合体)  
 正体法で膝を治す 一役立つ家庭療法の極意一  
 第1回~第5回 詳細・国家試験問題集 '98

臨床にいかす刺血療法  
 写真で見る肋骨療法  
 難病とどう取り組むか 一鍼灸による難病治療の実際一  
 鍼灸臨床こぼれ話  
 黄帝内経素問 現代語訳 中巻  
 正体らくらくバンド療法  
 針灸治療 361 問  
 てのひらツボ療法一高麗手指鍼の原理と応用  
 針灸入門 669 問  
 現代針灸写真シリーズ・4 循環器疾患(高血圧・低血圧等)腎・膀胱疾患  
 現代針灸写真シリーズ・1 神経系病  
 初めて学ぶ人のための新中国の針灸療法入門

廖 登稔  
 深谷伊三郎  
 杉山 勲  
 柳谷 素霊  
 小萩 喜一  
 濱添 囃弘  
 代田 文誌  
 高木 幹市  
 あん摩マッサージ指圧師・はり  
 明治東洋医学院編集委員会編  
 王 秀珍  
 小萩 喜一  
 張 登部 編  
 宮脇 和登  
 南京中医学院編  
 高木 幹市  
 森 和 監修  
 柳 泰佑  
 森 和 監修  
 倉島 宗二  
 木下 晴都  
 飛松 源治 編

医 歯 薬 出 版  
 三 景  
 緑 書 房  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 エンタプライズ  
 エンタプライズ  
 医 道 の 日 本 社  
 エンタプライズ  
 医 道 の 日 本 社  
 緑 書 房  
 エンタプライズ  
 緑 書 房  
 た に ぐ ち 書 店  
 東 洋 学 術 出 版 社  
 エンタプライズ  
 緑 書 房  
 地 湧 社  
 緑 書 房  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 三 景

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

今日の診療 CD-ROM Vol.10 for Windows  
 マイオセラピー 基礎編 Part 1・2 理論、検査法・基本テクニック  
 医学大辞典 南山堂 CD-ROM プロメディカ for Windows & Macintosh  
 医学看護用語変換辞書 ver.1.0 for Windows/Macintosh かな漢字変換 CD-  
 長野式鍼灸処置法の実際 臨床編 PART 1・2 長野潔氏の臨床の実際  
 長野式鍼灸処置法の実際 臨床編 PART 3 腹証を中心とした長野式処置法  
 寝たきりが歩ける!在宅ケアで役立つ関節リラクゼーションテクニック PART 1・2  
 目で見る老年看護学 1~7  
 ステッドマン医学大辞典 CD-ROM for Windows & Macintosh 英和・和英  
 足の反射療法 ビデオ版 一足をマッサージして体のトラブルを防ごう一  
 ケンダルの筋力テスト法 第1~5巻 体幹と股関節:柔軟性のテスト 他  
 Practice practical for Windows & Macintosh.  
 A.K.テクニック アプライド・キネシオロジー 3・4 下肢 1・2  
 A.K.テクニック アプライド・キネシオロジー 5・6 基本的な脊柱の治療過程 1・2  
 A.K.テクニック アプライド・キネシオロジー 7・8 構造的治療過程 1・2  
 A.K.テクニック アプライド・キネシオロジー 上肢 1・2  
 あなたにもできるコリとれ一るマッサージ  
 動きからみる足底挿板療法 入門編 ダイナミック・シュー・インソール・シ  
 キネシオテーピング法 第1~3巻 解説・肩こり編、腰痛編、関節編  
 実践臨床手技テクニック Part 1 (下半身編) 第1・2巻 検査法・治療法  
 実践臨床手技テクニック Part 2 (上半身編) 第1・2巻 検査法・治療法  
 チェアーリラクゼーションプログラム  
 中川貴雄のカイロプラクティックテクニック 側臥位骨盤テクニック 1・2  
 長野式鍼灸処置法の実際 入門編 Part 1 長野式治療法の基本的処置法から  
 長野式鍼灸処置法の実際 入門編 Part 2 腹証を中心とした長野式処置法  
 パイ・ディジタル O-リングテスト 基本編 vol.1~3 テストの準備と正しい 他  
 マニュアル・メディスン Part-2 筋膜リリース&ファンクショナルテクニッ  
 モーション・パルペーション&マニピュレーション 1~9 仙腸関節編 I・II 他

辻井洋一郎 監修・出演  
 長野 潔 出演  
 松本 岐子 出演  
 西村 久代 監修/出演  
 平田 文子 監修  
 改  
 吉元 昭治 監修・出演  
 Florence P.Kendall 出演  
 Wojciech Pawlina.  
 George Goodheart  
 George Goodheart  
 George Goodheart  
 George Goodheart  
 劉 勇 指導・監修  
 内田 俊彦  
 加瀬 建造 監修・指導  
 山根 悟 監修/出演  
 山根 悟 監修/出演  
 吉塚 亮一 監修・出演  
 中川 貴雄 実技/解説  
 長野 潔 出演  
 松本 岐子 出演  
 大沼 恵昭  
 Philip E.Greenman 実技解説  
 山根 悟 講師

医 学 書 院  
 医 道 の 日 本 社  
 南 山 堂  
 医 学 書 院  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 医学映像教育センター  
 メジカルビュー社  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 A.D.A.M.Software,Inc.  
 ジャパンライム  
 ジャパンライム  
 ジャパンライム  
 ジャパンライム  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 ジャパンライムプロダクツ  
 医 道 の 日 本 社  
 医 道 の 日 本 社  
 トロワモンジュ  
 ジャパンライム  
 医 道 の 日 本 社



# 図書館からのお知らせ

## 新総合情報管理システムの運用開始

今まで使用していました MS-DOS 版の旧「情報館」が Windows 95 の 32 ビット OS 機能をフルに生かした総合情報管理パッケージソフト「情報館95」にバージョンアップされ、平成12年12月から運用が開始されています。

貸出・返却等のカウンター業務を始め、新着図書案内・開館予定カレンダー等のお知らせ、更に資料検索面では、資料区分をまたがったの横断検索等、目的にあった検索方法が選べる等機能がアップし、使い勝手が格段に向上しています。皆様の十分な活用を期待しています。

## 図書館のルールは必ず守りましょう!!

### 1、貸出手続きは確実にすること

図書館資料の無断持ち出しは厳に謹んで下さい。  
平成12年度の蔵書点検で42冊（181,644円）の図書が紛失していました。

心覚えの有る人は、**至急返却して下さい。**

### 2、返却期限を守ること

他の利用者に迷惑をかけています。  
延滞者へ督促の掲示等を行い回収に努めていますが、毎月、常時80人くらいの延滞者が存在します。今後、延滞者には、図書館利用規程第15条第2項が厳格に適用され、**貸出停止**等の対処が為されることがあります。

貸出延長を希望する場合は、延長手続きを忘れないように注意して下さい。

### 3、筆記用具以外の持ち込みは許可が必要。

筆記用具以外の持ち込みは原則禁止です。  
本の持ち込みは許可を得、退館時に必ず**受付でチェック**を受けて下さい。

※ 飲食物の持ち込み、携帯電話の使用は厳禁。

整形外科最小侵襲手術ジャーナル  
整形・災害外科  
MONTHLY BOOK ORTHOPAEDICS  
作業療法ジャーナル  
月刊 手技療法  
スポーツと健康  
マッスル・アンド・フィットネス  
月刊 トレーニング・ジャーナル  
近代柔道  
柔道  
整形外科看護  
体育の科学  
労働科学  
\* 購読中止（廃刊等のため）  
朝日グラフ  
American J. of Acupuncture.

## 平成11年度の蔵書現況 ( ) の数は外国書で内数。

平成12年3月31日現在の蔵書冊数は、49,027冊となり、昨年より1,685冊の増。

その内訳は、一般図書 37,143冊 (8,562)、点字図書 1,404冊、製本雑誌 9,446冊 (4,804)、視聴覚資料 1,034点 (93)。  
雑誌タイトル数は、学術雑誌 173タイトル (78)、一般雑誌 18タイトル、計 191タイトル (78)。

## 平成11年度 利用者区分別貸出件数

(人数は延べ数)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	院 生	卒 研 生	その他	教職員	小 計	
11年度	人数	556	765	424	655	150	124	29	237	2,940
	%	19%	26%	14%	22%	5%	4%	1%	8%	100%
	冊数	840	1,030	584	1,016	393	397	49	678	4,987
	%	17%	21%	12%	20%	8%	8%	1%	14%	100%
10年度実績	人数	609	881	401	613	166	222	30	204	3,126
	%	19%	28%	13%	20%	5%	7%	1%	7%	100%
	冊数	902	1,130	555	933	379	526	51	561	5,037
	%	18%	22%	11%	19%	8%	10%	1%	11%	100%



## 雑誌の新規購読及び購読中止について(2001年から)

### \* 新規購読

Sports Medicine  
MANIPULATION  
構造医学  
オルタナティブ・メディスン  
体力科学  
柔道整復・接骨医学  
救急医学  
THE BONE  
骨・関節・靭帯

## 編集後記

21世紀第1号の図書館報「駒の館だより」をお届けします。世紀末の昨年は、景気回復の停滞、少年犯罪の多発、地震 噴火の多発など、暗い話題の多い年でした。そのような中で白川英樹氏のノーベル化学賞受賞、シドニーオリンピック パラリンピックでの日本人選手の活躍、特に女性の活躍が目立ちました、などは我々を興奮させ、明るい気持ちにさせてくれました。この1年図書館は可もなく不可もなし、という年でしたが、それでも変化はありました。館長が交代し、情報システムが更新され、さらに柔道整復関係の資料が多数導入されました。これは整理・登録が済み次第ご利用に供します。

館報を手にする度、卒業と入学の祝辞が同居していることになんとなく違和感を感じはするのですが、今回もやはり、卒業生の皆さん「ご卒業おめでとうございます」、新入生の皆さん「ご入学おめでとうございます」。(T.M)

〈写真協力：写真部〉